



2017年3月期 決算説明会

2017年5月24日

バンドー化学株式会社

I . 会社概要

II . 2017年3月期 決算概要

III . 2018年3月期 業績予想

IV . 中期経営計画

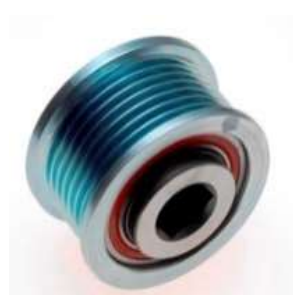
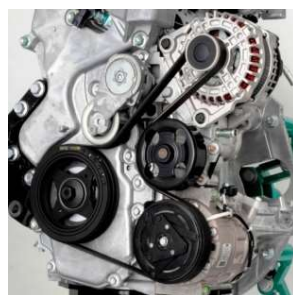
Breakthroughs for the future について

I . 会社概要

会社基本情報

社名	バンドー化学株式会社(証券コード:5195)
本社所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町4-6-6
代表者	代表取締役社長 吉井 満隆
設立	1906年4月(明治39年4月)
資本金	10,951百万円(2017年3月31日現在)

自動車部品事業



●自動車用補機駆動ベルト

●オートテンショナ

産業資材事業



●産業機械用駆動ベルト

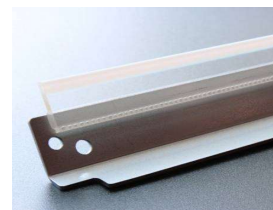


●農機用駆動ベルト

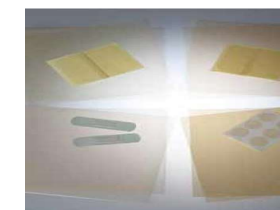


●コンベヤベルト

高機能エラストマー製品事業

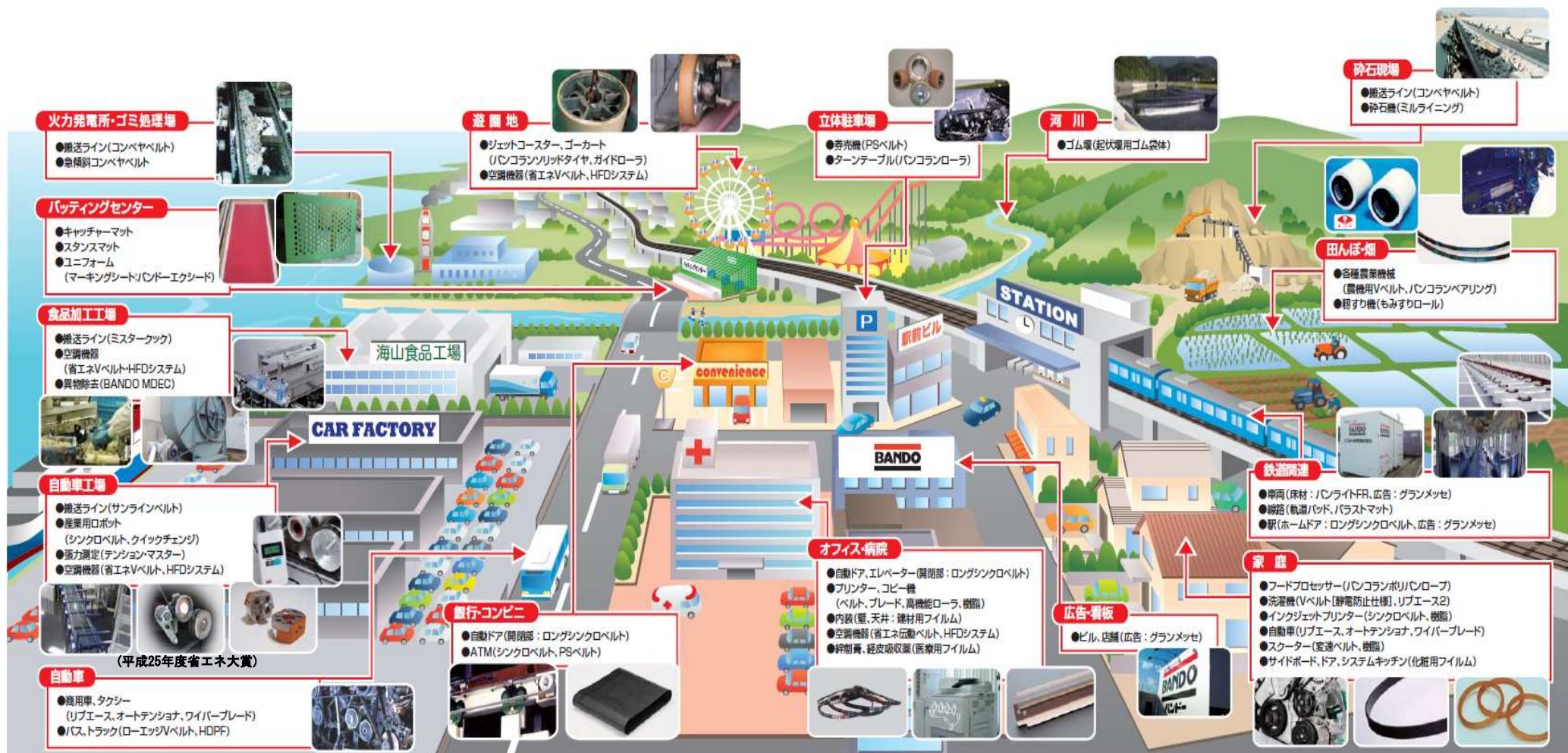


●精密機能部品製品
(左:クリーニングブレード 右:高機能ローラ)



●機能フィルム製品

暮らしのさまざまなシーンで活躍するバンドーの製品



Ⅱ. 2017年3月期 決算概要

2017年3月期 決算ハイライト



(百万円)

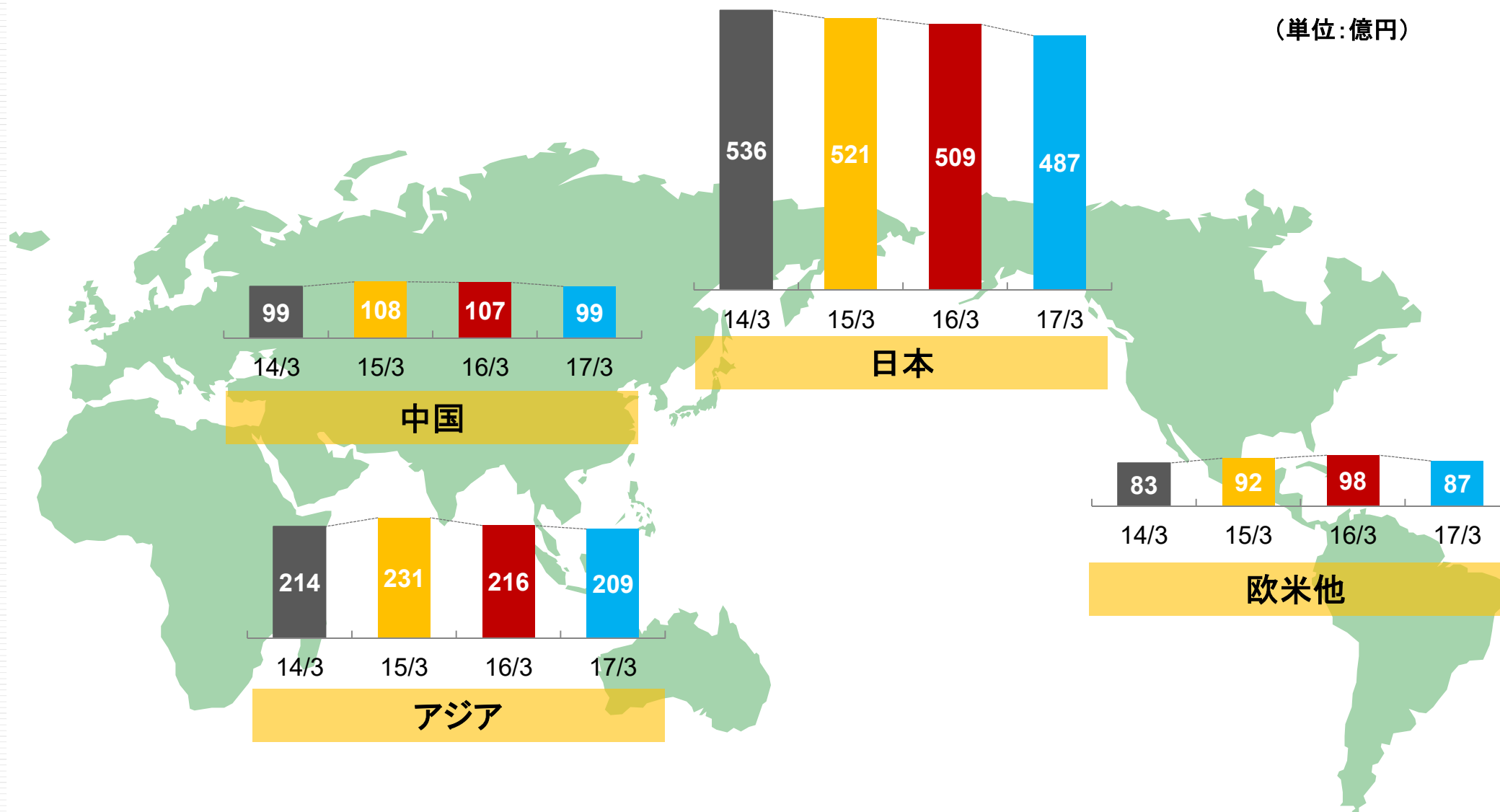
	2016/3 実績	2017/3			
		実績	前期比	修正予想(※)	修正予想比
売上高	93,272	88,387	△4,884	90,000	△1,612
営業利益	5,960	5,896	△64	5,500	+396
経常利益	6,363	6,571	+207	5,600	+971
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,386	4,951	+565	4,100	+851
営業利益率	6.4%	6.7%	+0.3%	6.1%	+0.6%

(※)修正予想:2016年11月9日発表の2017年3月期業績予想

- 売上高は、前期比で円高による為替影響(△4,768百万円)を受けた。
- 営業利益は、為替影響および減収による減益を、原材料調達コストの減少とコストダウン活動の成果等により巻き返したが、前期比で△64百万円の減益となった。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、当社史上2番目に多い結果となった。為替差損益と持分法投資損益等が改善したことおよび税金費用が減少した結果、前期比で増益となった。

2017年3月期 所在地別売上高

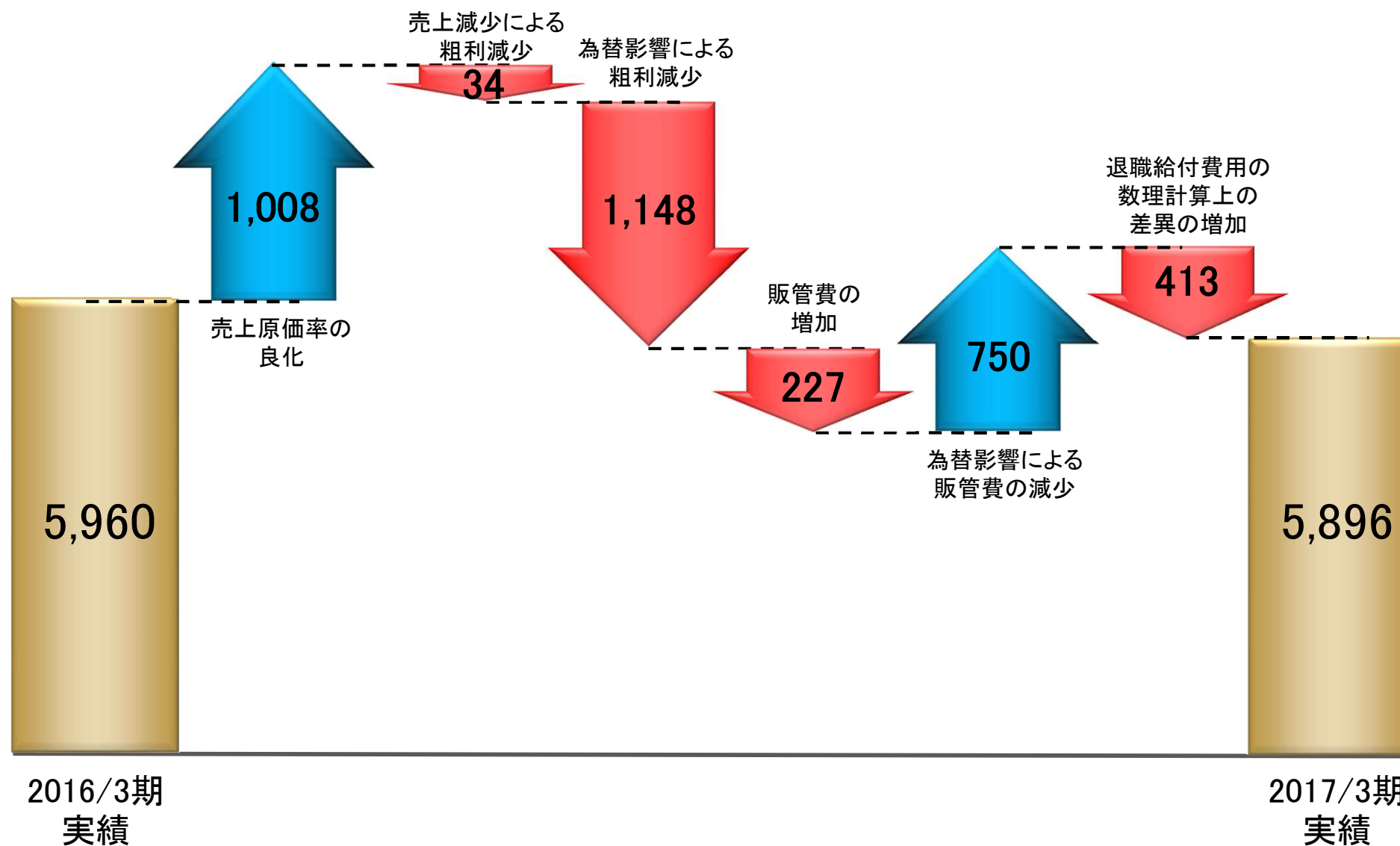
(単位: 億円)



(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。

2017年3月期 連結営業利益 増減分析

(単位: 百万円)



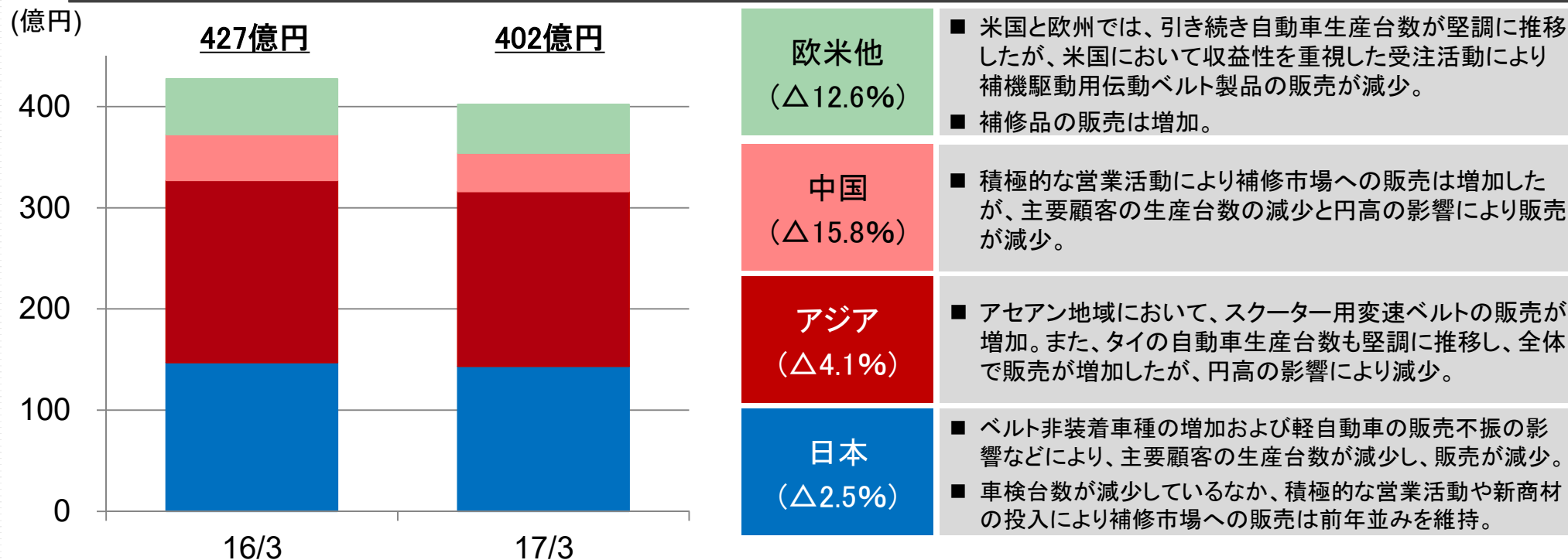
2017年3月期 セグメントの状況

(百万円)

	2016/3 実績	2017/3		
		実績	増減額	増減割合
売上高	93,272	88,387	△4,884	△5.2%
自動車部品事業	42,844	40,320	△2,524	△5.9%
産業資材事業	33,096	31,446	△1,650	△5.0%
高機能エラストマー製品事業	15,619	14,914	△705	△4.5%
その他	2,630	2,509	△121	△4.6%
セグメント間消去	△920	△803	+116	—
営業利益	5,960	5,896	△64	△1.1%
自動車部品事業	3,323	2,937	△386	△11.6%
産業資材事業	1,924	1,991	+67	+3.5%
高機能エラストマー製品事業	759	294	△465	△61.3%
その他	275	427	+151	+54.9%
セグメント間消去等	△322	245	+568	—

自動車部品事業 概要

所在地別売上高

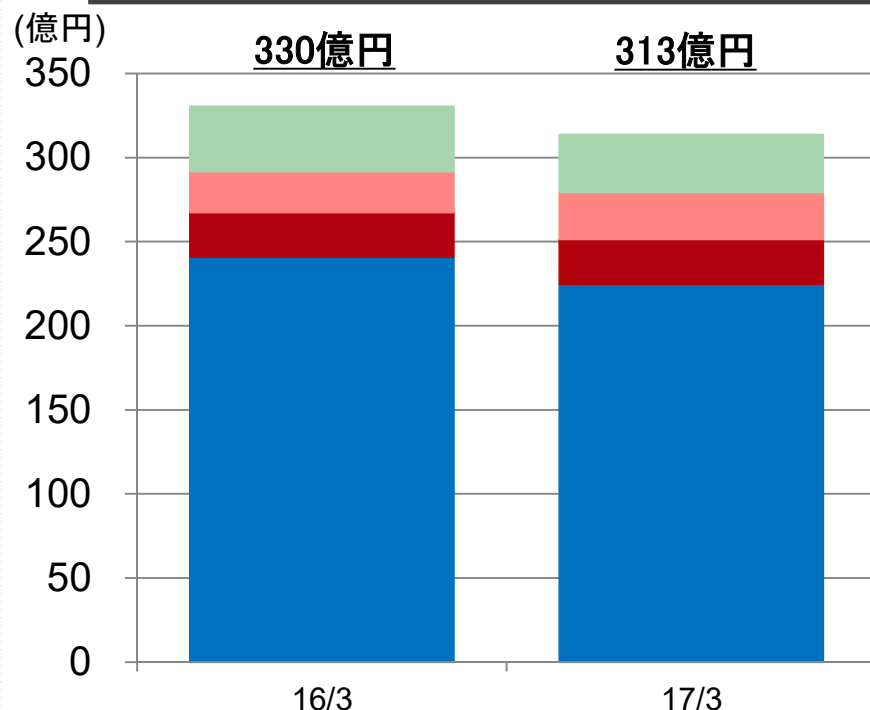


営業利益



産業資材事業 概要

所在地別売上高



欧米他
(△10.9%)

- トルコにおいては、拡販活動が奏功し販売が増加したが、米国において、設備投資需要が低位で推移したことや円高の影響により、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。
- 南米向けの販売も減少。

中国
(+15.1%)

- 販売強化により、農業機械用、産業機械用伝動ベルトおよび軽搬送ベルトなどの販売が増加。

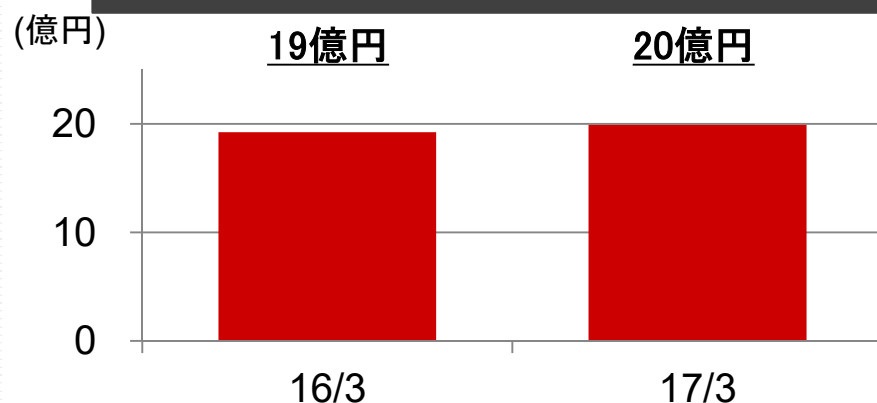
アジア
(+0.6%)

- タイ、ベトナム、インドにおいて、販売強化により、産業機械用および農業機械用伝動ベルトの販売が増加。
- タイ、ベトナムにおいて、軽搬送ベルトが増加したが、全体では円高の影響により前年並み。

日本
(△6.7%)

- 収益性を重視した受注により、コンベヤベルトの販売が減少。
- 設備投資需要が低下している影響を受け、一般産業用製品の販売が減少。

営業利益

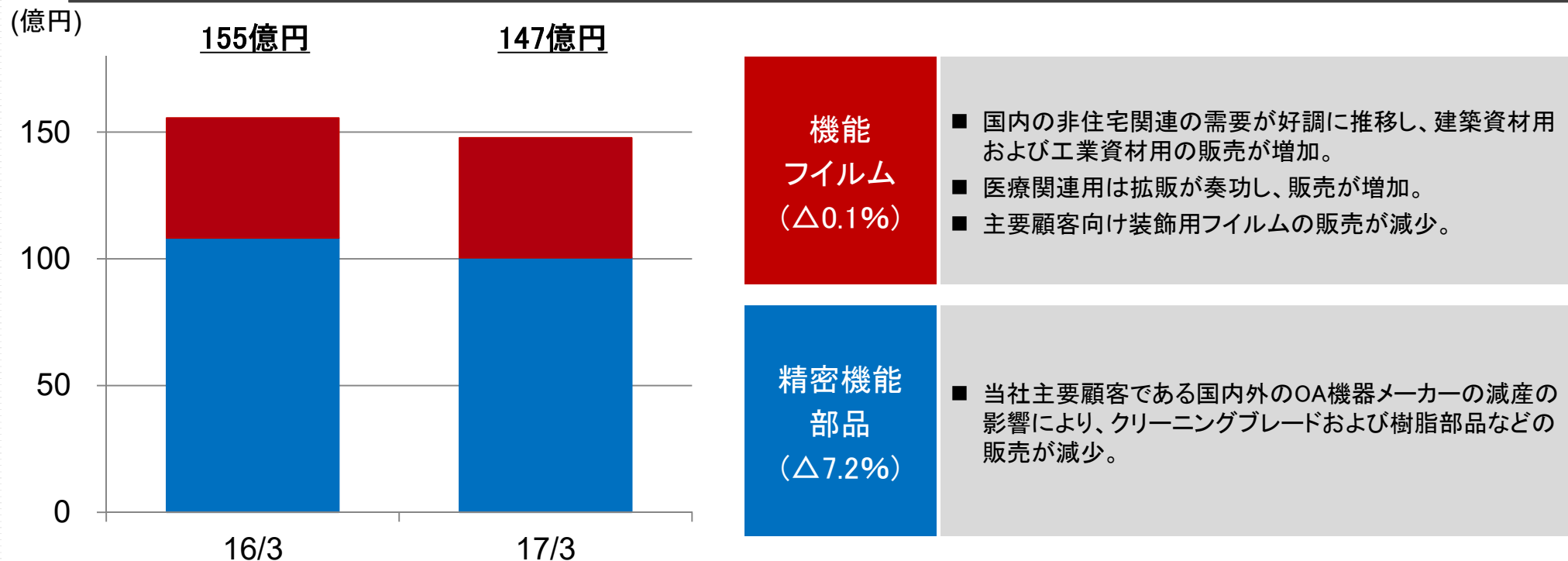


営業利益
(+3.5%)

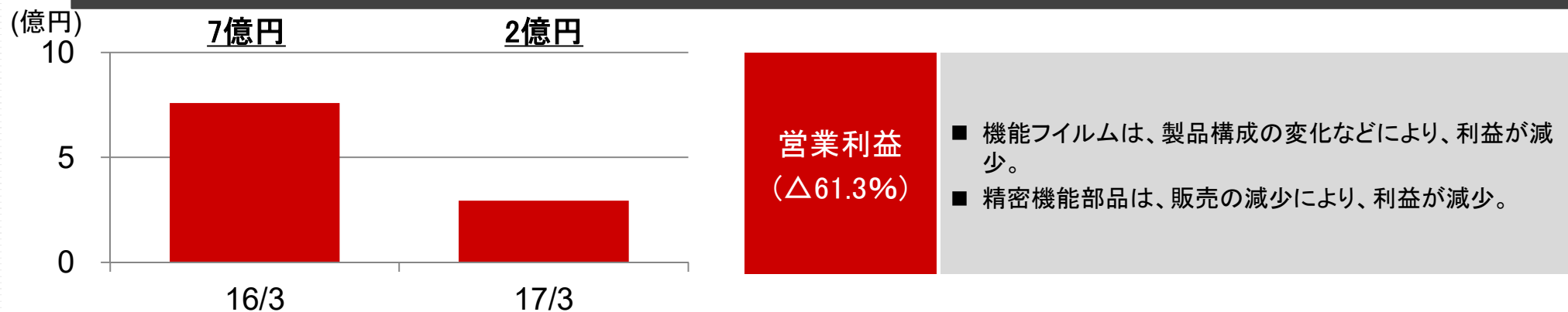
- 収益性を重視したコンベヤベルトの受注による利益増加。
- 中国において、農業機械用、産業機械用伝動ベルトおよび軽搬送ベルトの拡販により増加。
- タイ、ベトナムにおいて、農業機械用伝動ベルトおよび軽搬送用ベルトの拡販により増加。

高機能エラストマー製品事業 概要

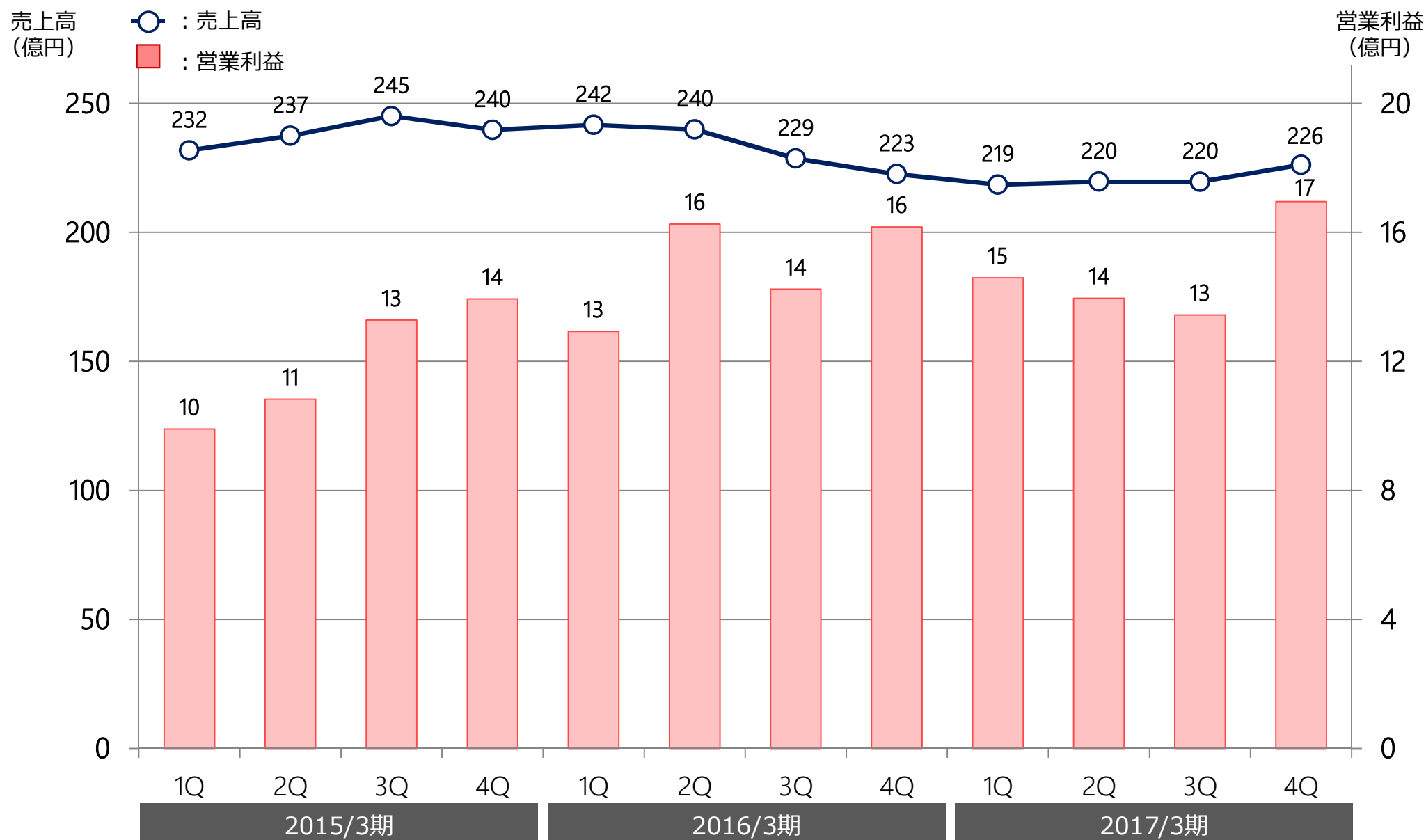
事業別売上高



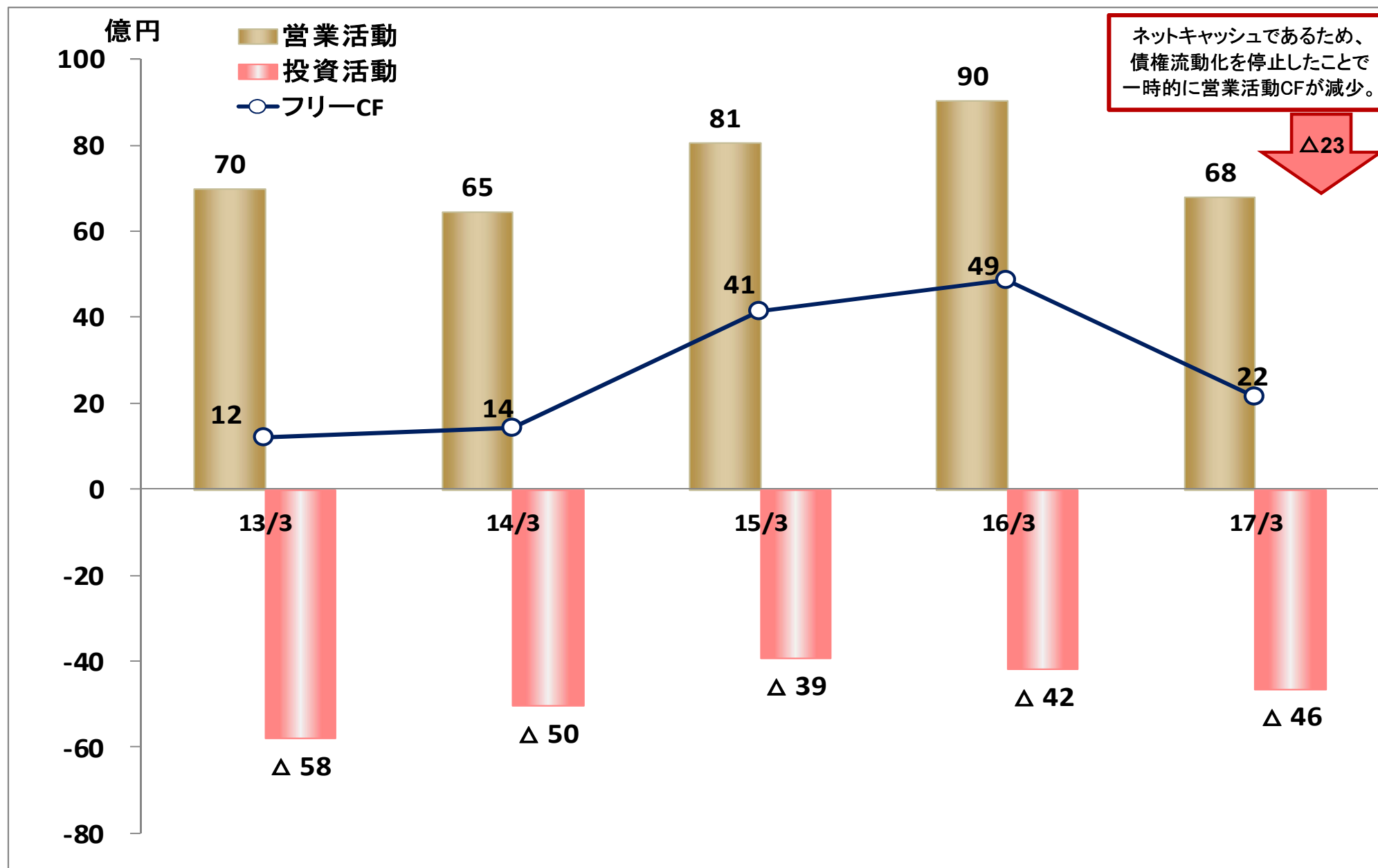
営業利益



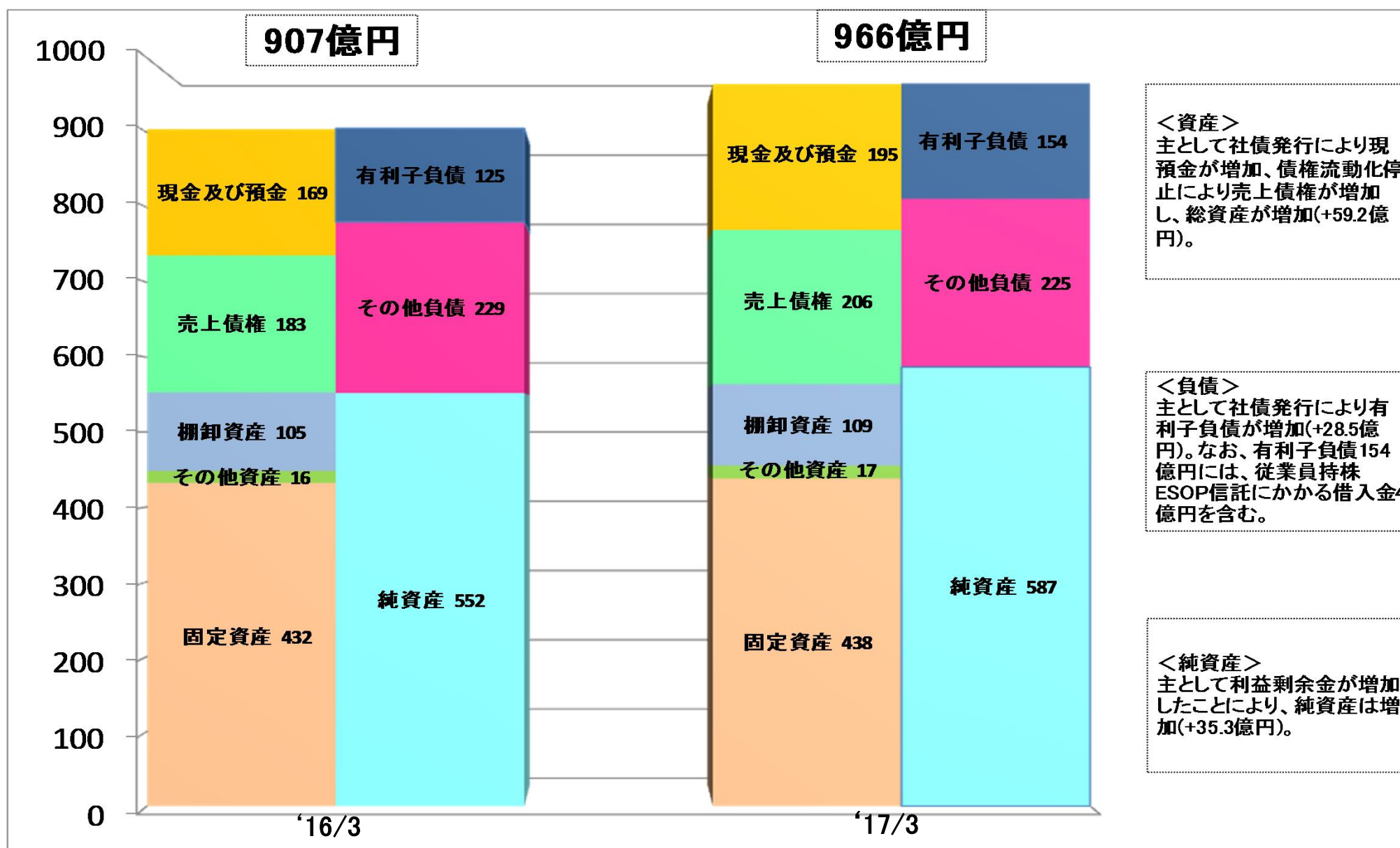
四半期推移(売上高/営業利益)



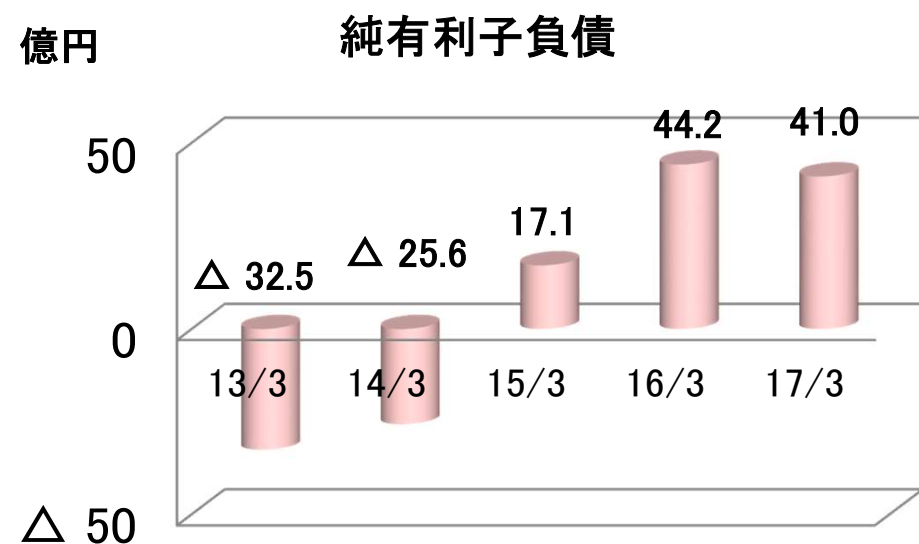
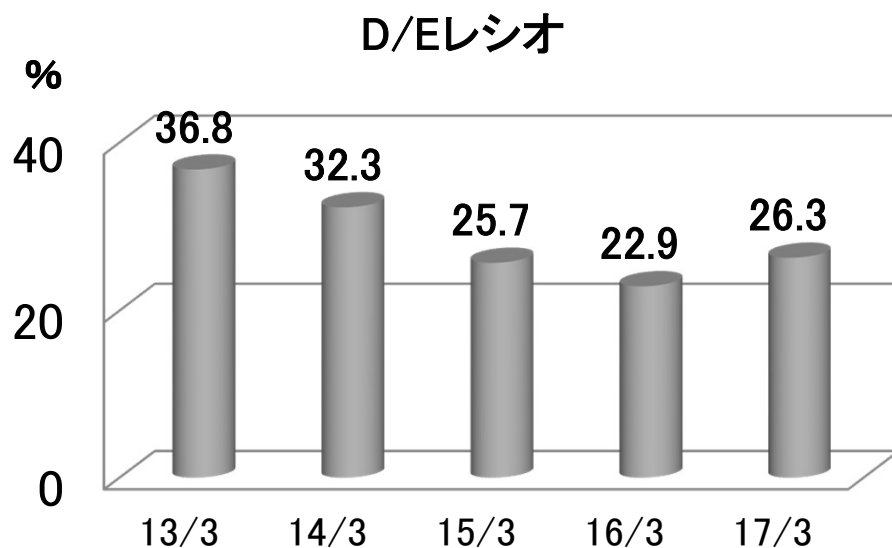
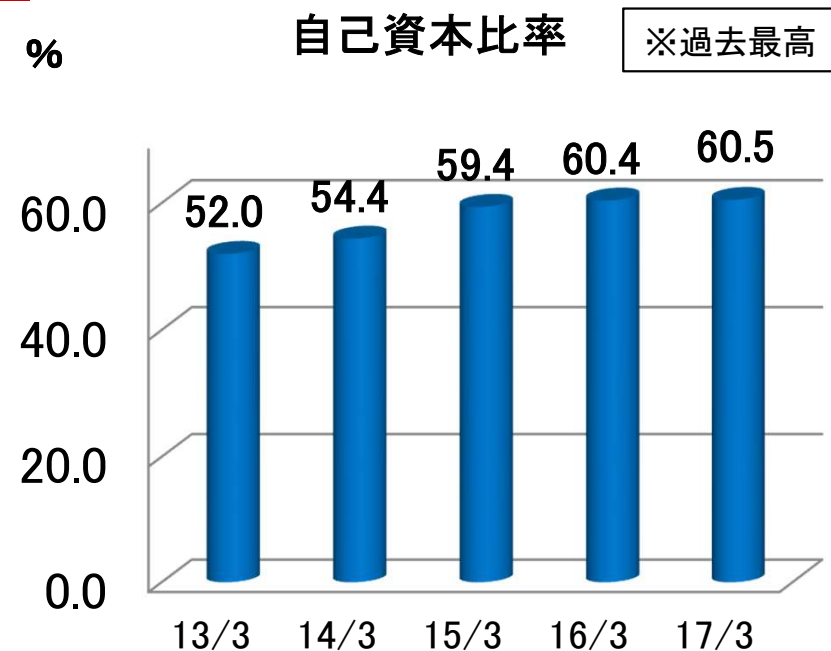
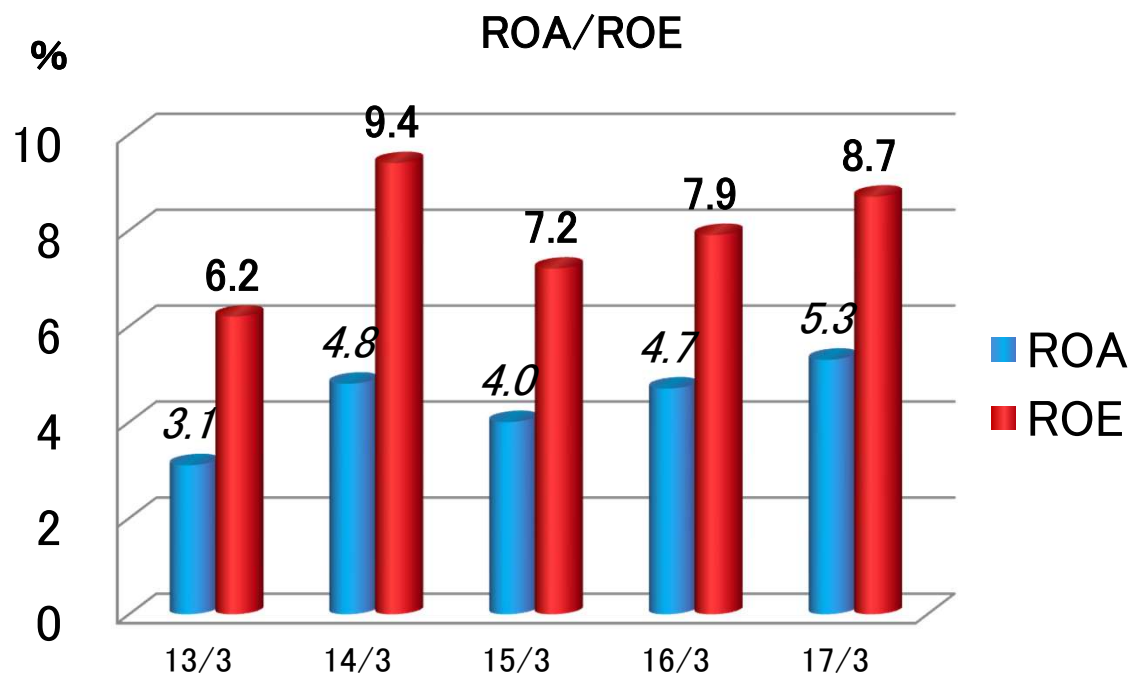
キャッシュフローの推移



■ 連結貸借対照表



財務指標



Ⅲ. 2018年3月期 業績予想

2018年3月期 業績予想



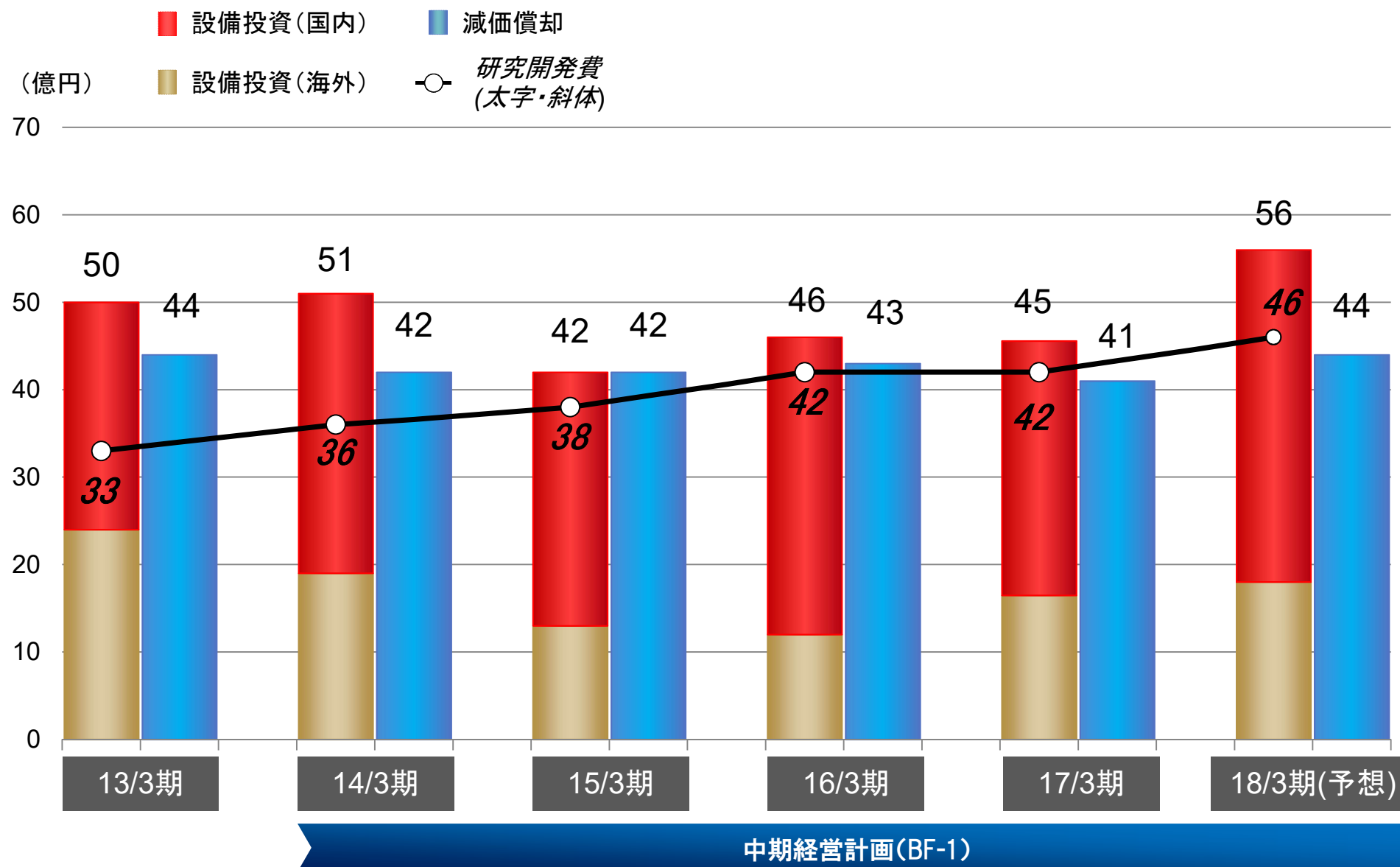
(百万円、%)

	2016/3	2017/3		2018/3 予想	
	実績	実績		前年同期比	
売上高	93,272	88,387	91,000	+2,612	+3.0%
営業利益	5,960	5,896	6,000	+103	+1.8%
経常利益	6,363	6,571	6,600	+28	+0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,386	4,951	4,900	△51	△1.0%

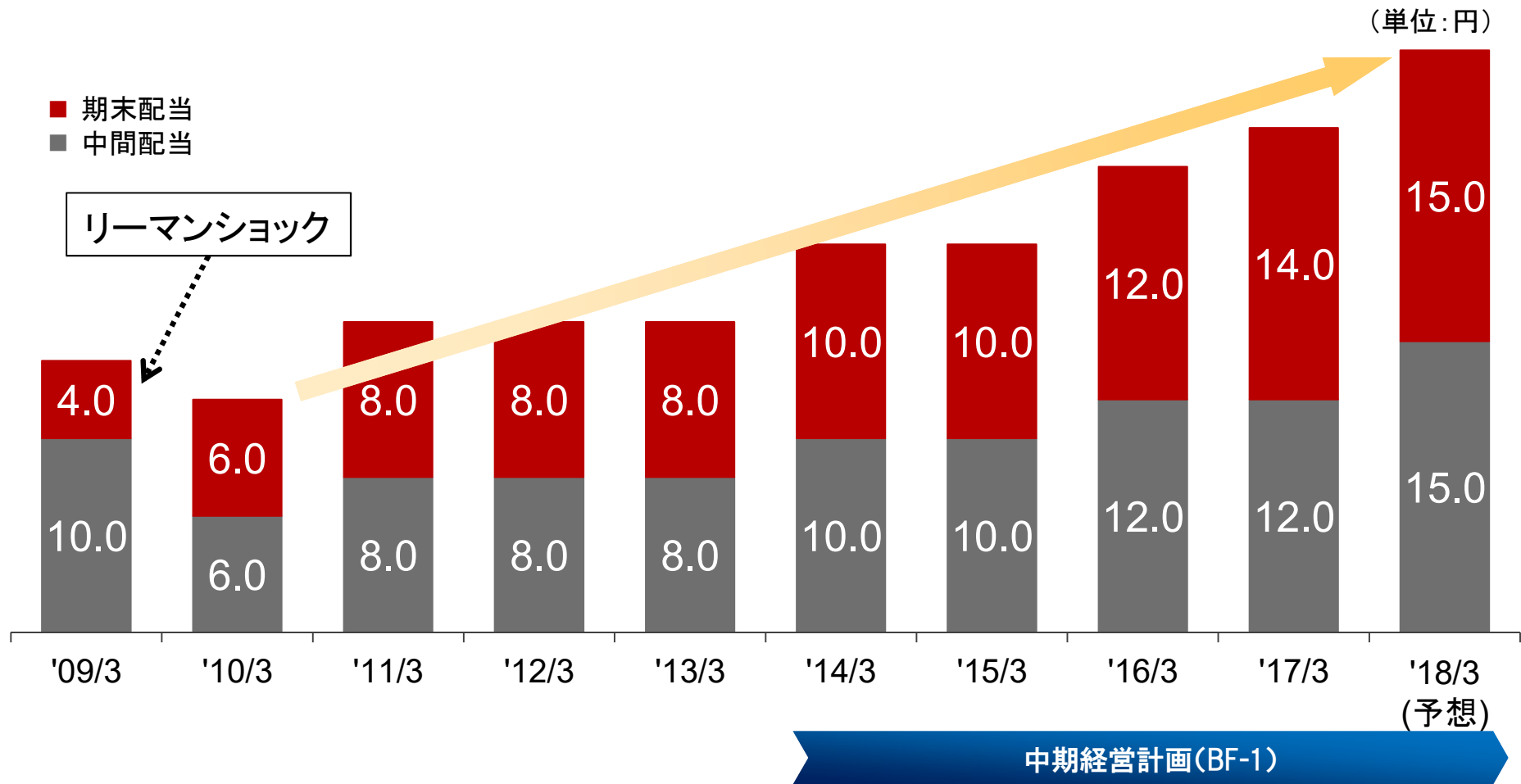
為替レート	U S D	119.95円	108.69円	110円		
	T H B	3.42円	3.10円	3.1円		
	人民元	18.80円	16.09円	16円		

- 中国、アジアおよび国内市場を中心に積極的な拡販活動を実施し、増収を見込む
- 利益面においては、増収による利益増およびコストダウン活動を反映した利益を見込むものの、原材料価格の上昇を反映し、ほぼ前年度並み

設備投資額と減価償却費、研究開発費の推移



1株当たり株主配当の推移



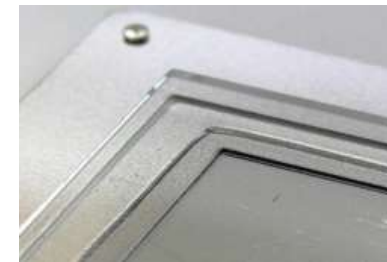
配当性向	—	48.7%	23.7%	53.9%	30.2%	22.0%	25.0%	25.7%	24.1%	28.1%
------	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※2016年10月1日付にて普通株式2株につき1株の割合にて株式併合を実施しており、この影響を補正した数値を記載しています。

主なトピックス

2016年

- 6月・光学用透明粘着剤シート「Free Crystal®」を開発
- 10月・難燃耐熱コンベヤベルト「FR7500」を販売開始
・「バンドーテクノフェア2016」を開催（神戸、東京）
- 11月・「ベトナム新工場建設に伴う移転・拡張」を決定
- 12月・結合型細幅Vベルト
「パワーエース®アラミドコンボ」を販売開始



光学用透明粘着剤シート
「Free Crystal®」



難燃耐熱コンベヤベルト
「FR7500」



ベトナム新工場 完成イメージ

2017年

- 2月・「健康経営銘柄2017」に選定
・難燃耐熱コンベヤベルト「FR7700」を販売開始
- 3月・バイオマス発電プラント向けコンベヤベルト
「BANDO FR-BIOS™（バイオス）」を販売開始



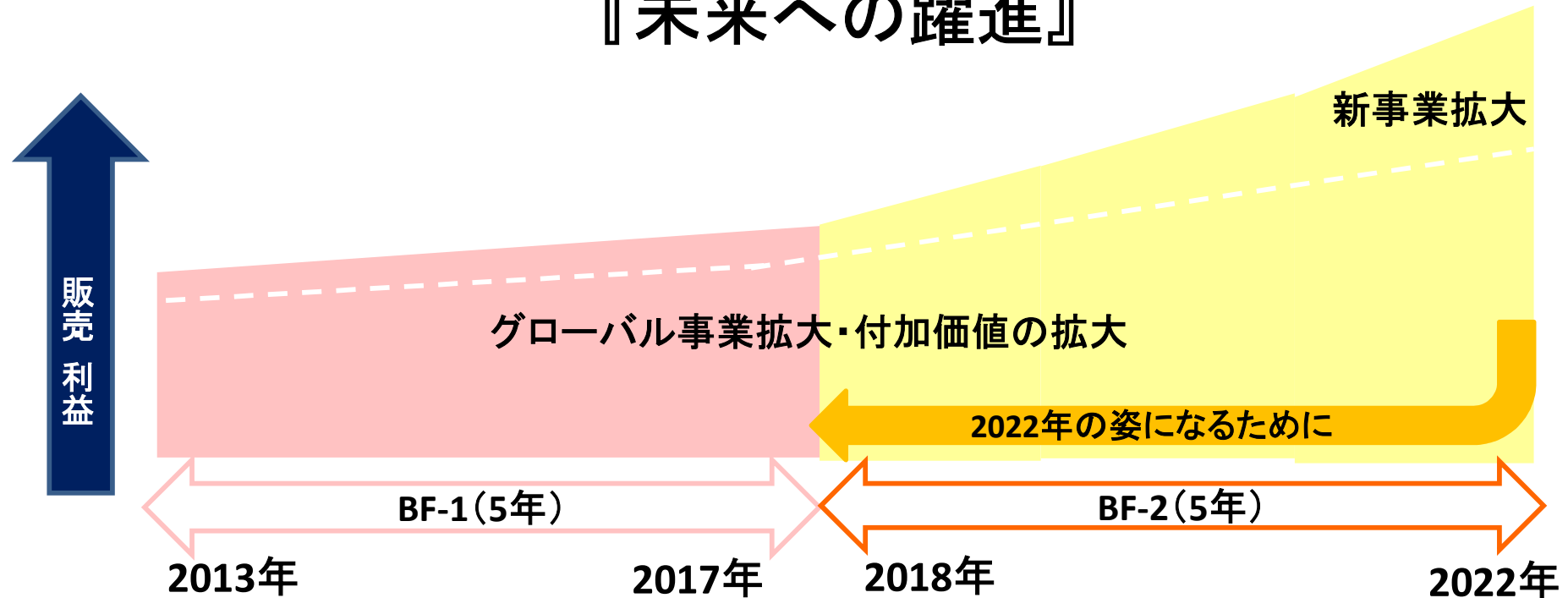
難燃耐熱コンベヤベルト
「FR7700」



IV. 中期経営計画

Breakthroughs for the future について

中長期経営計画“Breakthroughs for the future” 『未来への躍進』



目指す姿: グローバルで『際立つ』サプライヤー

- 事業領域はベルトおよび機能製品分野、事業展開はグローバル
- キラリと光る付加価値製品の提供、キーワードは「環境・省エネ・高機能」
- ゴム・エラストマー・樹脂の「コア技術」と「信頼の品質」を活用

BF-1 目標と進捗

利益率改善に時間を要し、営業利益も目標を下回る見込み

(単位: 億円)	2012年度 実績	2017年度 予想	2012年度比	BF-1 目標 (2017年度)	予想との乖離
売上高	857	910	+43	1,000	△90
営業利益	40	60	+20	100	△40
営業利益率	4.8%	6.6%	+1.8%	10.0%	△3.4%

主な 乖離要因

- ① 新興国経済の成長鈍化
 - ② 新製品の開発・上市遅れ
 - ③ コストダウン施策の進捗遅れ
 - ④ 販管費等の増加
- (経営品質の向上、②・③のスピードアップに向けた先行投資が要因)

BF-2での飛躍を期するための課題「完遂」

既存事業の強化

- 自動車部品事業
- 産業資材事業
- 高機能エラストマー製品事業

主力事業の
進化と深化、
コスト構造改革

新事業の創出

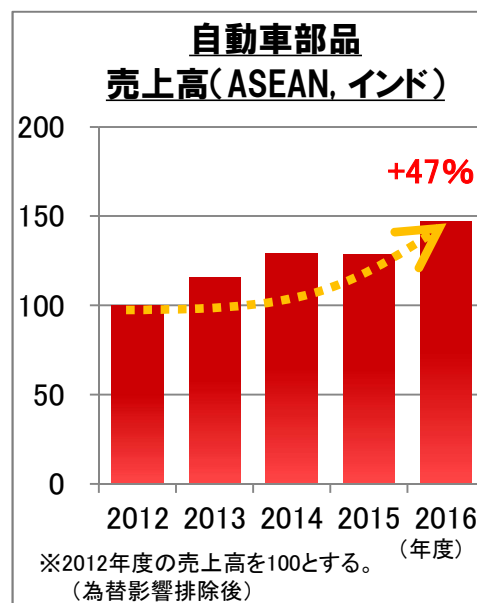
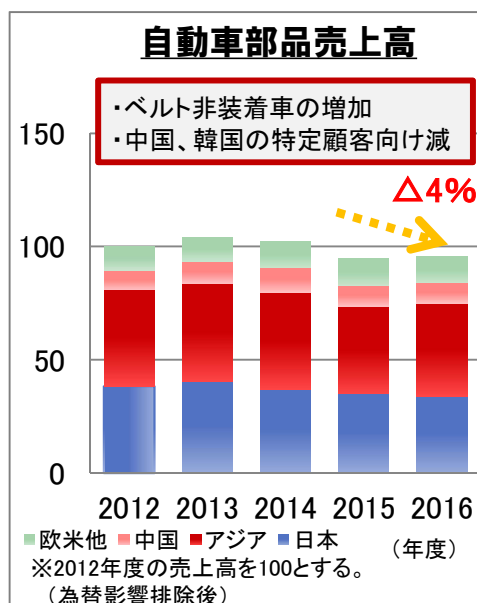
- オプトエレクトロニクス
- 自動車／交通
- ロボット
- 健康／福祉／医療

コア技術を生かし
次世代の柱となる
新事業の育成を推進

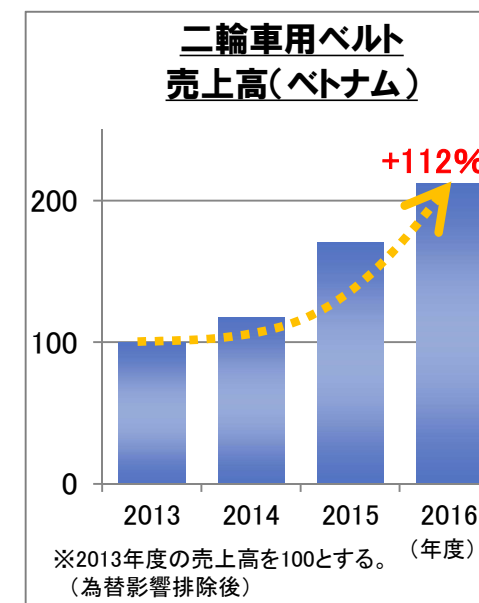
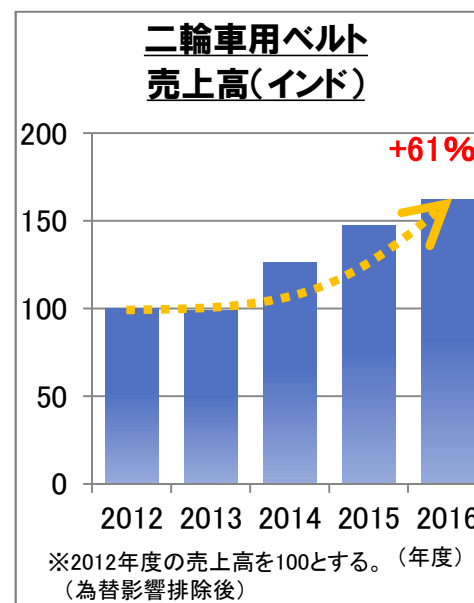
既存事業の強化：自動車部品事業

革新製法確立による収益体質の強化、新用途製品の納入開始

4輪



2輪



■ 重点海外OEMのスペックイン、補修市場の拡販

- ・ OEM: ①中国ローカル、②欧州メーカー
- ・ 補修: ①中国、②中南米

■ 高付加価値製品の開発を加速

- ・ 主力製品の高付加価値化
- ・ 補機駆動用途以外での製品開発

■ 世界最適生産の実現

- ・ 主力製品の革新製法確立、自動化の推進

■ 重点OEMのスペックイン、補修市場の拡販

- ・ OEM: ①インド・ベトナム、②台湾ローカル
- ・ 市場戦略マップに基づく販売代理店攻略

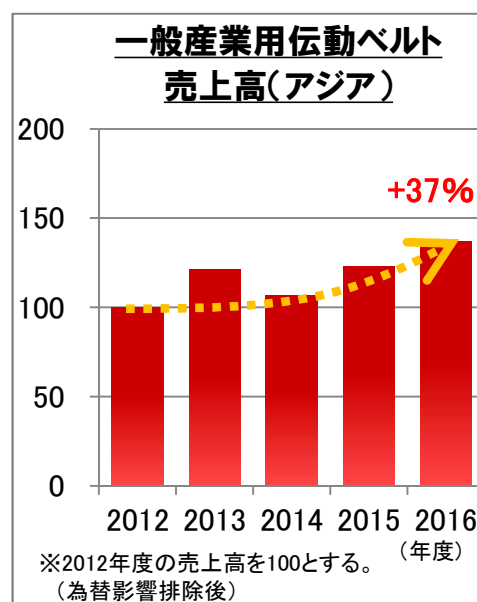
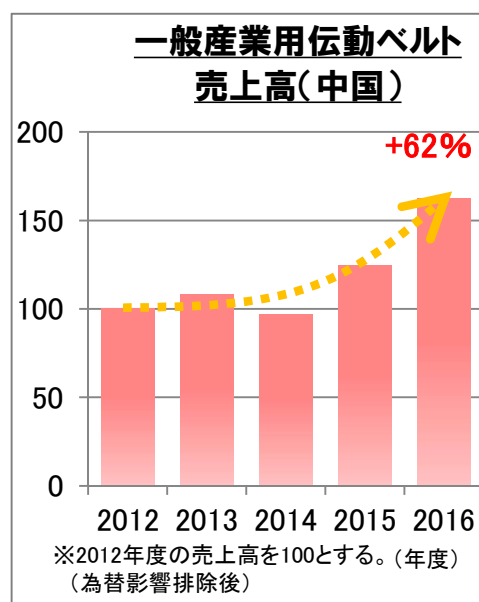
■ コスト競争力の強化

- ・ ベトナム新工場の建設による生産力の強化

既存事業の強化：産業資材事業

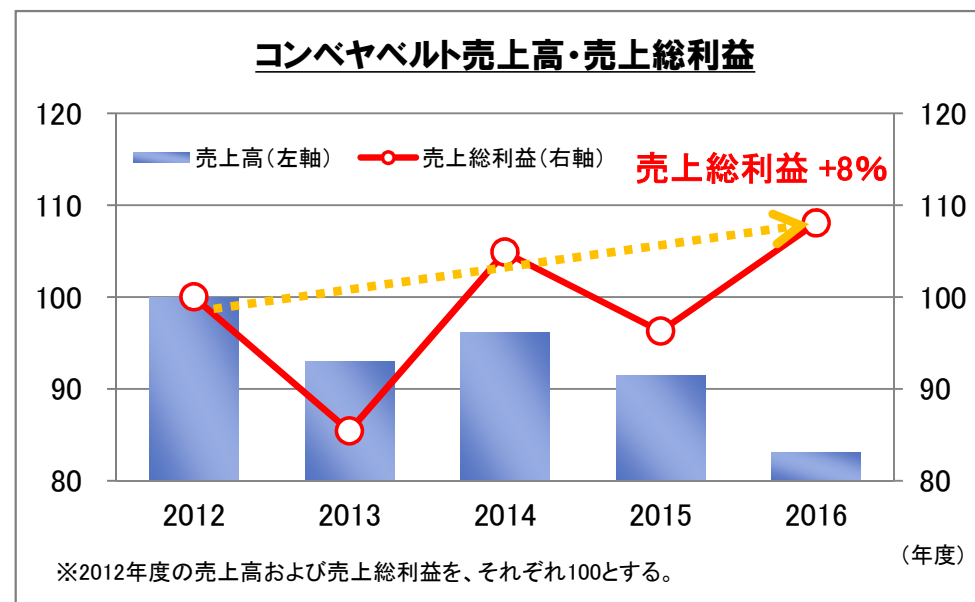
中国・アジアでの拡販、コンベヤベルトの収益力強化

一般産業



- 伝動ベルトの海外拡販
 - ・ 中国・アジアにおける、販売チャネルの拡大
- 高付加価値製品の開発
 - ・ ワイパーエッジEXの拡販
 - ・ 大型農業機械用ベルトのターゲット地域への投入
- 世界最適生産体制の構築
 - ・ 海外拠点の設備投資を段階的に推進

搬送

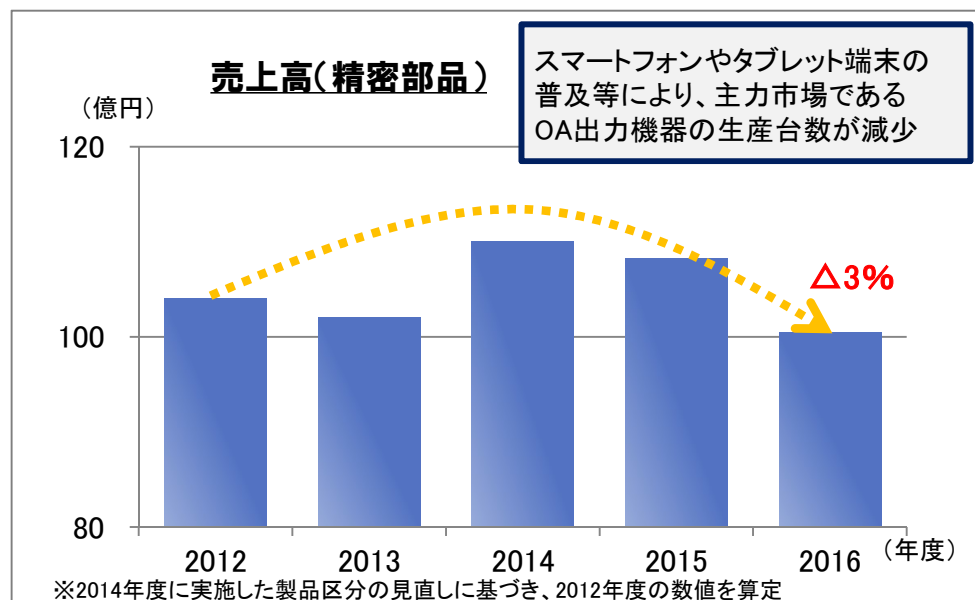


- コンベヤベルトの収益力強化
 - ・ 特長品による他社との差別化
 - ・ サービタイゼーションの展開
 - ・ 生産ライン刷新効果の刈り取り
- 軽搬送用ベルトの市場別マーケティングの強化
- 国内販社統合による製品・サービス提案力の強化

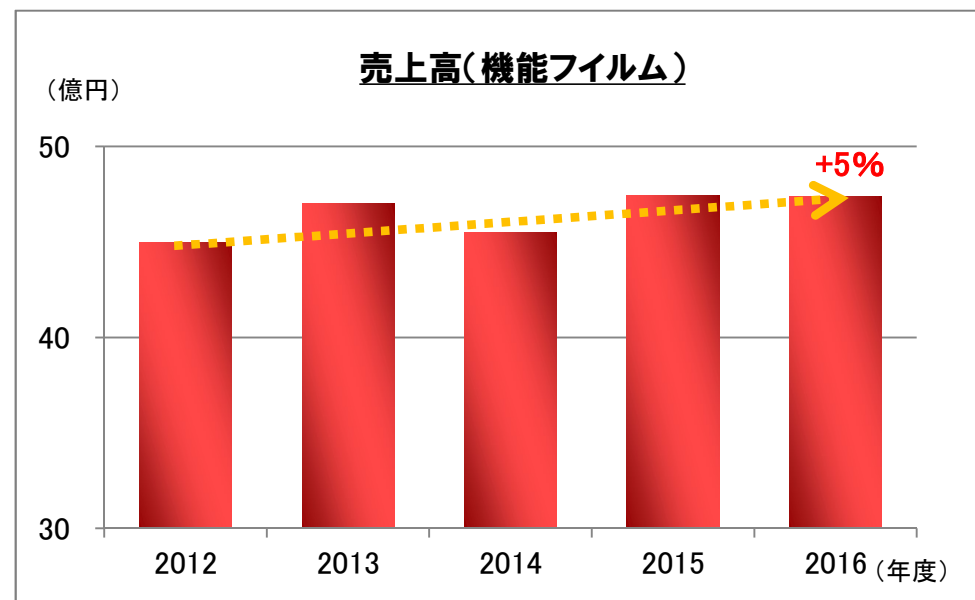
既存事業の強化：高機能エラストマー製品事業

高付加価値品による新市場の開拓

精密部品



機能フィルム



■ OA市場依存の脱却

- ・ 精密ベルト等のOA市場以外での用途拡大

■ 新市場での戦略製品の販売拡大

- ・ 光・電子材料市場への商品投入
(研磨剤、Free Crystal[®]、MDEC[®]等)

■ 新製法ウレタンベルトの量産開始

- ・ 新製法開発によるコストダウン効果の刈り取り

■ 完成品ビジネスの拡大による高付加価値化

- フィルム単品のビジネスから、加工度を高めた製品投入
(建装材市場)

- ・ 「機能・意匠」×「多品種少ロット」の提案で他社と差別化

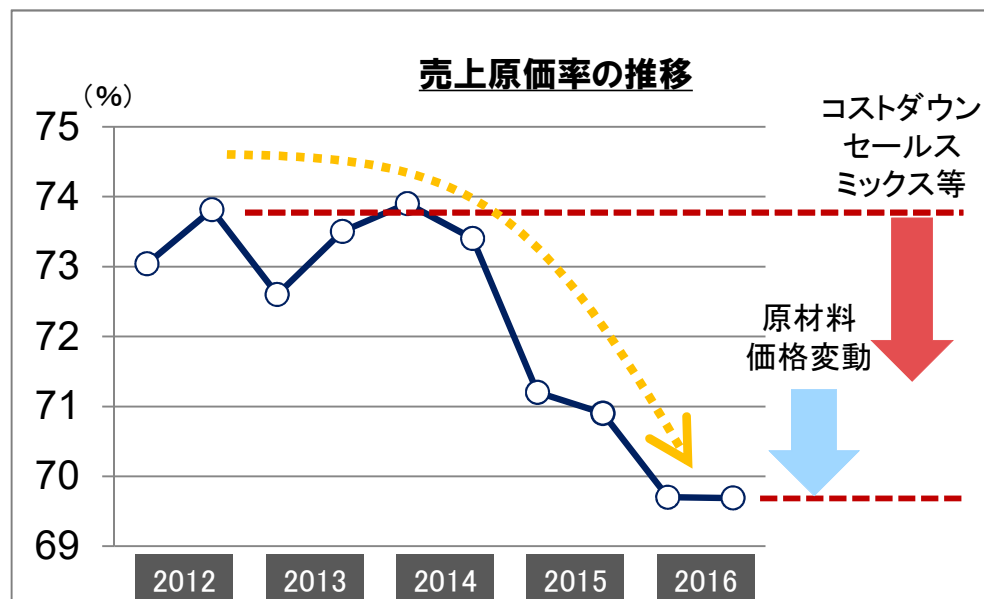
(車両市場)

- ・ 二輪メーカー(アクセサリ等)、四輪メーカー(内装)をターゲットに提案活動継続

既存事業の強化:コスト構造改革

売上原価率70%以下の定着と販管費率20%以下の実現

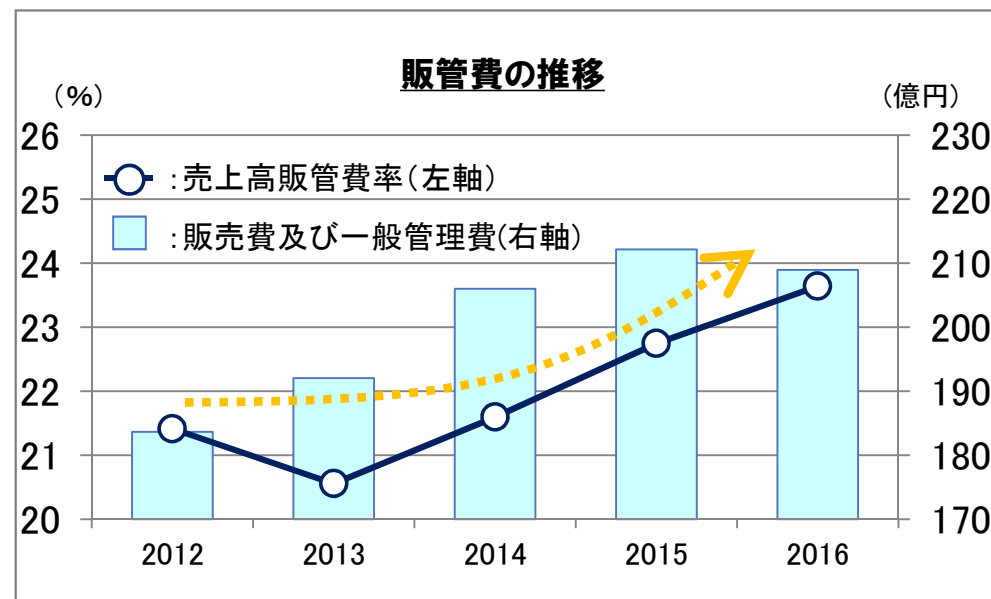
売上原価



目標とする売上原価率70%以下を達成

- 目標の達成は、A+B+Cのコストダウンに加え、原材料価格の下落が寄与
⇒ものづくりの革新・世界最適生産の実現により売上原価率70%以下の定着を図る

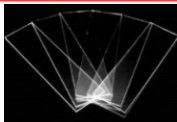
販売費及び一般管理費



販管費率が増加基調

- 経営品質の向上および課題のスピードアップのための政策的支出の増加
⇒ ベースとなる販管費削減活動を継続し、販管費率20%以下を目指す

コア技術に新技術を融合させ、次世代の柱となる新事業を育成

ターゲット領域		製品/開発製品		研究	製品開発/顧客評価	量産
オプト エレクトロニクス		光学用透明粘着剤 「FreeCrystal®」		顧客最終評価中 (2017年度上期 販売開始見込)		
		金属ナノ粒子インク 「FlowMetal®」		顧客評価完了、量産準備完了 (2017年度下期 販売開始見込)		
自動車 /交通	パワー エレクト ロニクス	高熱伝導放熱シート		産業機器向けに量産販売開始 用途拡大に取組み中		
		金属ナノ粒子接合材 「FlowMetal®」		パワーデバイス接合とLED接合 について複数顧客で評価中		
		輸送貨物の 固縛ベルト用張力計		販売開始		
ロボット		産業用ロボットデバイス ZEUS・GIGA (通信規格対応)		DeviceNET/Profibus/Ethernet等 評価完了し2017年度より販売開始		
健康/福祉/医療		伸縮性ひずみセンサ 「C-STRETCH®」		福祉機器分野向けに販売開始 用途拡大に取組み中		



“Breakthroughs for the future”

『未来への躍進』

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。